

「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)プレ・コンファレンス」
プログラム(案)

※あくまでも現時点のものです。変更となる場合がございます。

3月21日(日)

- 9:30 参加者受付開始
- 10:00 開会挨拶 (環境省、名古屋大学、DIVERSITAS)
- 10:30 基調講演
「生物多様性条約新戦略計画の策定」 David Cooper(生物多様性条約事務局)
- 11:00 科学と政策の対話
進行: 足立直樹(株式会社レスポンスアビリティ取締役)
環境省代表
Anantha Duraiappah(IHDP事務局長、DIVERSITAS 科学委員)
Peter Schei(バードライフ・インターナショナル議長)
Margalet Palmer(メリーランド大学教授・チェサピーク生物学実験所所長)
- 12:00 (昼食)
- 13:30 セッション1:生物多様性の喪失を引き起こす間接要因
「COP10 への提案」 David Cooper(生物多様性条約事務局)
講演1 「市民、企業及び政府の協力体制の確立に向けて:
共生社会への日本の挑戦」矢原徹一(九州大学教授)・
足立直樹(株式会社レスポンスアビリティ取締役)
講演2 「EU での経験」 Ybele Hoogeveen (欧州環境保護庁)
講演3 「市場とインセンティブ」 Steve Polasky(米国・ミネソタ大学)
パネル発表
-「市民への普及啓発」Thomas Elmqvist(スウェーデン・ストックホルム大学)
-「ガバナンス」 Phillipe LePrestre(カナダ・ケベック大学)
- 15:30 (休憩)
- 16:00 ディスカッション
- 17:00 終了

3月22日(月・祝)

- 9:00 基調講演
- 9:30 セッション2:生物多様性の喪失を引き起こす直接要因
「COP10 への提案」David Cooper(生物多様性条約事務局)

講演1 「地球規模生物多様性概況第3版(GBO-3)で述べられている
生物多様性の変化を引き起こす直接的な要因」

Paul Leadley(仏・パリ第11大学)

講演2 「日本における生物多様性の変化を引き起こす直接要因」

中静 透(東北大学教授)

講演3 「アジアにおける生物多様性の変化を引き起こす直接要因」

Rodrigo Fuentes (ASEAN 生物多様性センター)

パネル発表

-「淡水生態系でのかく乱の減少」

Margalet Palmer(メリーランド大学教授・チェサピーク生物学実験所所長)

-「持続可能な農業」Lijbert Brussaard(オランダ・ワヘニンゲン大学)

-「新しい疾病の制御」Peter Daszak(米国・保全医学コンソーシアム)

-「外来種の管理」Mark Lonsdale(豪・連邦科学産業研究機構)

ディスカッション

12:00 (昼 食)

13:30 **セッション3: 生物多様性とそれに関連する生態系サービスの保全と回復**

議長: Anantha Duraiappah(IHDP事務局長、DIVERSITAS 科学委員)

「COP10 への提案」David Cooper(生物多様性条約事務局)

講演1 「SATOYAMA イニシアティブ」

武内和彦(東京大学教授、国連大学副学長)

講演2 「生態系サービスの管理～南アフリカの経験を通して」

Bob Scholes(GEO-BON 運営委員長、南アフリカ科学産業技術研究所)

講演3 「体系的保全計画」

Dan Faith(オーストラリア国立博物館)

パネル発表

-「農業生態系の回復」Lijbert Brussaard(オランダ・ワヘニンゲン大学)

-「漁業の回復」松田裕之(横浜国立大学教授)

-「温室効果ガス削減に関する生物多様性の役割」S.Diaz

15:30 (休 憩)

16:00 ディスカッション

最終勧告

17:30 終了